

「高津川の魅力あふれる川づくり懇談会」 設立趣旨

島根県西部の日本海側に位置する高津川は、平地に乏しく急峻な地形で、最下流において沖積平野が広がり、島根県石西地域の中心都市である益田市を擁している河川です。また、高津川は、水量、水質に恵まれ、鮎をはじめとする多くの魚類を育み、緑の山々と清冽な水とが調和した自然豊かな環境に恵まれています。

一方、過去には破堤や漏水などの洪水被害が多数発生しており、中でも、既往最大の洪水である昭和47年の洪水では家屋浸水等の甚大な被害が発生し、社会的な影響を及ぼしました。

こうした中、平成18年2月14日に、昭和47年の洪水を踏まえ、治水計画を見直し、自然豊かな環境、景観を保全、継承しながら地域の活力、歴史や文化が実感できる川づくりを目指す、高津川の長期的な河川整備の方針である「高津川水系河川整備基本方針」を策定しました。

これを受けて、中国地方整備局では、高津川の特徴を踏まえ、今後20～30年間の高津川の整備・管理の内容を具体化する「高津川水系河川整備計画【大臣管理区間】」の策定に向けて、各分野の専門的知識や経験を有する方々から意見を聴くことを目的として「高津川の魅力あふれる川づくり懇談会」を設立します。